



鹿児島

東洋大学校友会
鹿児島県支部

■発行…東洋大学校友会鹿児島県支部
支部長 岩城 健
■発行日…平成19年12月20日
■事務局…〒891-0141
鹿児島市谷山中央4丁目4956
TEL.099-267-4302
■印刷…斯文堂株式会社
TEL.099-268-8211



平成19年9月1日(土)於:鹿児島東急イン



出会って感動 ふれあって未来

東洋大学校友会 前支部長
村松 勇
(昭和34年国文)

鹿児島県支部長として平成8年10月より平成19年9月の支部総会まで県内校友各位は勿論のこと、九州・沖縄は一つという合言葉のもと、広く全国にご縁を頂いた関係各位の方々、大変お世話になり誠にありがとうございました。今もって深い交誼を結んでいただいておりますお一人おひとりに厚く感謝御礼申し上げます。

10年ほど前より校友会の隆盛、大学の前進はめざましい勢であります。この勢いを止めてはならないという想いはだれしも同じであります。一方では個性化し特色を活かす、長所を伸ばすということで反面では格差の生ずる時代になりつつあることです。グループとしても個人としても同じであります。

その個性を磨くことについて昔はトップダウン方式で上からの命令、指示によってものごとがなされる。これでは限界があり、思い切ったことも知恵にも限度があり、実際面で判断行動してはならない。これに

対して、いまは個人の裁量を尊重して下位の者から上位の者へ進言提言して展開していく。昔、常識であったことも今では非常識とされる時代となった。お互いは、やり甲斐と充実感と楽しさを共有できる魅力がある。企業でも団体でもマスコミでも読者からのご意見お便りお寄せください。双方向で全体がアップされていく。一方では格差、差別されていく。主役はだれか、構成員の一人ひとりが主役だ。メンバー一人ひとりが主役だ。校友会活動においても全く同じ。昔、新婚旅行での宿泊客に植樹してもらいました来てもらう。串木野の金山蔵で焼酎を買ってもらいその日付を記帳しプラカードに残してまた来てもらう。みな双方向だ。

さて、私はここ数年、薩摩の歴史に大変魅力を感じていた。本年は特に西郷隆盛没後130年生誕180年、また、NHK・TV日曜夜8時より「天璋院、篤姫」ドラマが放映される。私は幸いにも、鹿児島市観光企画課の力添えもあって薩摩が明治維新への原動力になっていたことを多く知り深く感銘した。鶴丸城周辺のこと城山のこと、薩英戦争のこと明治10年の国内最後にして最大の激戦、西南の役終焉の地など。人材も幻の宰相、小松帯刀 黒田清隆(首相) 松方正義(首相2回) 28代藩主 斉彬公のことなど枚挙にいとまがない。郷中教育、山坂達者、示現流、若き薩摩の群像の銘々の活用など精神面で

の裏付けも相俟って広い視野での総合力になったに違いない。

要は個人の個性ある確立を一人ひとりが持っていてそれをボトムアップにして総合力とする。まさに「歴史は未来を照らす鑑」といえる。

いま、現実の社会は目には見えない大きなうねりのような個人の力ではどうにもならない激動の時代といえると思います。とすれば私たち校友一人ひとり個人それぞれの特性を持ち寄って、すり合わせ楽しく意気投合、夢と希望に心はずむ存在にならなければなりません。「出会って感動、ふれあって未来」です。メールとか携帯では味あえないもう一つの心に響く感動が得られるはずです。

いま、母校、東洋大学は学問の府のみならず現代社会の学術研究拠点として研究所で人間科学総合研究など、私の知っている範囲で6ヶ所あります。また、研究センターとしてはバイオ・ナノエレクトロニクスとか光応用計測センターとか東洋大学エコ・フィロソフィ学祭研究センターとか社会貢献どころか国際貢献のためのセンターが15ヶ所ほど設置されています。

鹿児島の校友の方々、嘗って薩摩の先人が維新を成功させたように、その風土と歴史に自信と誇りをもって国を動かしたように鹿児島校友ここに在りをみんな手を取りあって実現したいものです。



魅力ある支部作りと 母校の発展に

校友会鹿児島県支部 支部長
岩城 健
(昭和40年経済)

今年の校友会鹿児島県支部総会に於いて校友の方々からご推挙をいただき、支部長に就任いたしました。本年鹿児島県支部が創設88周年を迎えますことは、歴代支部長の並々ならぬ情熱とご尽力によるものと思います。

私も微力ながら魅力ある支部作りと母校の発展に努めたいと思っています。

校友会の中でも長い歴史と伝統ある支部として鹿児島県支部は注目されています。この校友会の目的は校友相

互の親睦を図り、大学の発展に寄与することを目的とするものです。

この校友のみなさんの親睦を大きな輪にするべく毎年9月の第1土曜日に総会と親睦会を開催しています。600名の校友のみなさんと共に実りある支部作り而努力して参りたいと思っています。この機関紙の発行を機に多くの校友の皆さんが校友会に目を向けていただき総会、懇親会への参加へとつながる事を願っています。

平成19年9月1日(土)東洋大学校友会鹿児島県支部創立88周年、総会・懇親会が鹿児島中央駅近くの「鹿児島東急イン」で、開催され40名の校友が出席した。亡師、亡友への黙祷のあと村松支部長・渋谷俊彦氏(出水市長)のあいさつ。



平成19年度会務報告、決算報告、監査報告とすべての議案について全会一致で承認された。そのあと村松支部長の一身上の都合により支部長改選が行われた。その結果、前代議員の岩城健氏(昭和40年経済)が選出された。村松支部長に約12年間の労をねぎらい、万雷の拍手が送られた。

総会が終わったあと、写真撮影、そして懇親会が行われた。懇親会に先立ち、雨水会鹿児島県支部副支部長の池田司氏よりあいさつをいただいた。その中で、校友会と雨水会の絆を強くするために合同の新年会が提案され、平成20年1月5日(土)、サンロイヤルホテルにて実施することが決定した。(詳しい内容については、「雨水会・校友会合同新年会」の項をごらん下さい。)

東洋大学校歌を大合唱、橋口茂氏(昭和31年経済)が元気な明るい声で「乾杯」の音頭を取られ楽しい会話が飛びかう懇親の場へと変わった。自己紹介は、中村純乃氏(平成19年国際観光)ひとりにしていただいた。若い校友が、ひとりでも多く参加してもらえよう会を盛り上げていきたい気持ちになった。



ここ数年恒例となっている奥村司氏(昭和35年国文)の小品・そしてジャンケンゲーム。賞品めざし、子供にかえて真剣なまなざしでジャンケンに興ずる。賞品には、福山厚裕氏(昭和63年法律)勤務先の鹿児島東急インのお食事券・池田日道氏(昭和63年観光)オーナーの吹上温泉みどり荘の温泉入浴券、岩戸一彦氏(昭和41年法律)からの焼酎と数多く用意された。

宴も最高潮になり、各テーブル先輩、後輩といろんな会話が、時間を忘れて盛りあがっていた。80才代から20才代までと、幅広い校友の集まりの中で、新しい人間関係が出来ていくようであった。その様ななか、本田涼子氏(昭和45年観光)による「ヨガ」の実習が行われ、全員「ヨガ」で「心と身体、美しく」……そして健康に!と、すばらしい時間を過ごしました。



最後の万歳三唱は、友岡善信氏(平成18年経営)と中村純乃氏(平成19年国際観光)の若い2人による大きな声のもと「東洋大学、鹿児島県支部、校友会、万歳、万歳、万歳」と全員が唱和した。来年の9月の第1土曜日、9月6日(土)に、再会することを約束し散会した。



〔参加した校友の声〕
豊島亮一氏(昭和44年商)
毎年参加していますが、いつも楽しい会だと思えます。今年も、今年度卒業された方の参加があり、とても嬉しいです。来年も、1人でも新しい参加があれば良いですね。そのためにも、雨水会とのつながりを親密にしたいですね。

本田涼子氏(昭和45年観光)
観光学科出身が、池田さん、中村さんと3人参加していて嬉しかったです。昔の観光学科のこと、いっぱい話をしました。若い中村さんと出会ったこと最高に幸せです。



中村純乃氏(平成19年国際観光)
勤務先の上司が、雨水会副支部長の池田氏だった関係で、やや、命令的に参加しましたが、参加して、本当に良かったと思います。観光科の先輩はおられるし、仕事の違ういろいろな方々と話が出来たし、私の仕事(ホテル勤務)に役立つ情報をいっぱい教えていただきました。来年もぜひ参加したいと思います。またいろいろ教えてください。

友岡善信氏(平成18年経営)
私は雨水会に参加していた父の勧めもあり、卒業した年(昨年)から校友会に参加させて頂いています。初めて参加した昨年は、会場に入るなり幹事長から声を掛けて頂いて、緊張も解け大変楽しく過ごさせて頂きました。また先輩方も温かく、有意義な時間を送ることが出来ました。来年も9月の第1土曜日は既に空けておりますので是非、参加させて頂きたいと思えます。

特別寄稿



2007秋の叙勲
◇瑞宝小綬章◇
生徒に対して
誠実に、真剣に!

高口 稔氏
(昭和34年史学)

38年間、教育行政を含め教職生活を送りました。武岡台高校の創立にかかわり、1年目に教頭として赴任しました。学校を保護者、生徒とともに、一緒につくり上げたことが思い出の一つです。どの学校でも生徒に対して誠実に、真剣に向き合うよう心がけました。生徒、同僚、上司に恵まれ、家族に支えられたことに感謝しています。

南種子町出身、出水商業高校長、鹿児島商業高校長、南種子町教育長など歴任。
平成19年11月3日 南日本新聞より



かごつま弁で
世の中明るく
最優秀賞受賞

奥村 司氏
(昭和35年国文)

最近のわが国は、国民がびっくりするような事件や事故が発生しています。また、年金は上がりず税金は上がり、夫婦で不平不満の会話を日常です。

先月、初めての「霧島市かごつま弁論大会」が同市民会館で開催されました。千人収容のホールが満席でした。関係者によると、入場できなかった人たちが多数あったとのこと。三遊亭歌之介師匠の公演とともに爆笑の連続でした。

弁論大会では抽選で選ばれた10人が、それぞれ趣向をこらして演じました。「かごつま弁」に魅力を感じている市民がこんな多いことに、ひたまりました。私は、会話の頭に付ける「[まいで]と「[じゃっど]」で二役を演じ、最優秀賞を受けました。会話の頭に「[そうすね]」「[そうだね]」という意味にあたる鹿児島弁の「[まいで]」「[じゃっど]」は、暗い話も明るくし、難しい話し合いもスムーズしてくれるようです。さあ皆さん、こいっしょにどうぞ。

平成19年7月15日 南日本新聞より



「遊びにいらして
下さいネ!」に
まどわされて…!

西元大作氏
(昭和60年経法)

卒業以来20年間も定期的に頂いていた大学校友会からの郵便物。お困り感じの文章で殆どは詳しく

がんばる校友

見ないまま、或いは読んでも毎度の寄付のお願いで「あ〜またか」という感じでありました。あげくには捨てるには悪いので棚に入れたままで…。20年間とにかく無関心だったのは確かです。

変化があったのは、昨年来た校友会からのハガキ。「遊びにいらして下さいネ!」という女性っぽい手書きの文字に何故か今までに無い「何か」を感じました。正直迷いました。今まで無関心な態度をとってきたのに、今更「字」に惹かれて行っても困るのでは?という思いでした。が、こういう気分になったのも何かの縁だからと初めて出席の返信を出したのです。

当日、最初は会計報告やらで「やっぱり固い…休みの日にお金まで払って何故こんなことに付き合わさなければならぬ?」という印象でおりましたが、笑える乾杯の音頭・食会〜懇談と先輩方話していくうちに気分も解れ、今更ながら20年も何故此処に来なかったのだろうかという後悔の念を覚えました。東京に行くまでもなく東洋大学が鹿児島にあったということに気づいた訳です。

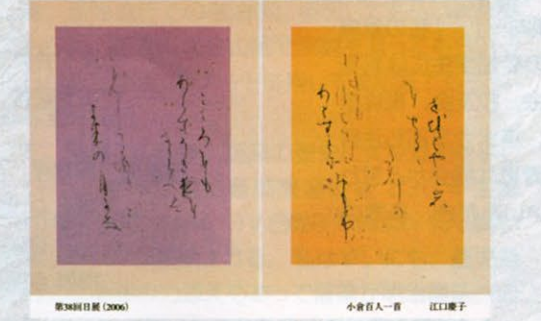
当日は三次会まで飲みました。先輩方とは言え殆ど初対面だったにも関わらずリラックスして多岐に渡って話すことができ、過去を懐かしむだけではない建設的な集まりだと認識を新たにしました。今後とも校友会に参加し続けたいと思います。宜しくお願い申し上げます。

PS: 在学の頃、東洋大学のトイレに書いてあった落書きで忘れられない一つ。「東洋大学と東京大学の違いは何ぞや?それはキョウヨウである」。トイレでしゃがんで詠みながら感慨に耽りましたね。誰が書いたか知りようがありませんが、座布団1枚!



書と私
江口 慶子氏
(昭和63年国文)

「書は人生の友」これが現在の私の心境です。良き師、良き書友との出会いが縁で書の道にはいりました。それが、平成18年度、第38回日展入選に結びつきました。幾10年、まわりの方々の励ましてやる気が継続できました。感謝の気持ちでいっぱいです。今後は書道を中心とした海外との交流が私の夢です。



ある日あの時、
思ったこと

松田 浩明氏
(昭和38年経済)

寒くなって暖房の季節となりました。報道で石油の高騰、物価の上昇、地球温暖化、円高、小字化、年金問題など厳しい時代の到来が予測され戸惑う気持ちになります。

東洋大学を38年に卒業その後45年旅行業、観光業界、ホテル業とサービス業一筋に生き老いて後輩に引継がなくてはと思うことです。

思えば東京オリンピック(1964)を境に日本経済は大きく伸び海外旅行の自由化など恩恵を受け、その原動力は今の熟年層がささえ今日の豊かな生活を築いて来ました。所得倍増論(池田首相)日本列島改造論(田中首相)など高度成長が続き、いざなぎ景気など高景気の連続もオイルショックによる経済低成長、狂乱物価、バブル景気と経済は変化し平均寿命も伸びました。高速道路、新幹線、携帯電話、液晶テレビ、便利な世の中になりました。東海道新幹線(1964)から九州新幹線(2004)部分開通まで40年地方都市の活性化に期待が持てる中で行政改革、民営化(小泉首相)による逼迫した国家財政の立てなおしが行われております。

「80年代までは経済成長とそれにとまらざる所得の伸びが、余暇時間の拡大、交通機関の発達に支えられ、順調に成長を続けていました。しかしバブル経済崩壊を契機に観光市場の低迷が始まり、その傾向は近年まで続いています」(観光白書)とあり観光産業においては団体型より個人型に旅行形態の変化が観光産業、日本の伝統である旅館経営を圧迫、ビジネスホテル増の二極化しつつある中で旅館業界としても生き残るための改革に取組んでいます。輸出企業は増収増益と報道されますが、国際競争に勝つための設備投資は行われても所得への還元は望まれそうになく、企業は国内消費から国際消費へグローバル化が一層進んでゆくのではないかと、今後石油高騰があらゆる分野における値上、政府においては消費税改正、アメリカ経済依存からアジア経済圏の構築による経済発展の可能性も考えられます。高齢化小字化の波は現実問題であり、安心して豊かな生活ができる社会にするには、グローバル化した経済に生き抜く次世代の若者に、競争に打ち勝つ教育と心豊かな人材育成が、必要ではと、思う次第であります。



平成20年度の総会・懇親会は9月の第1土曜日です。(9月6日)
校友会活動は校友会費によって運営されています。平成20年度もよろしくお願いたします。

**東洋大学校友会鹿児島県支部
現役員名簿**

顧問	木場 正義	幹事	
評議員	村松 勇	吉森 紀昭	有村 貞輝
支部長代議員	岩城 健	中野 博愛	菊浦 紀明
副支部長代議員	松下 健一	渋谷 俊彦	大橋 紘一
副支部長	有馬 泰祐	下川 清弘	岩本 宏之
副支部長	本田 涼子	豊島 亮一	下原 実清
		有村孝一郎	能塩 祐孝
幹事長	西村正一郎	中島 好哉	江口 慶子
副幹事長	松永 幹太	福山 厚裕	黒岩 信彦

平成19年度収支決算書

H18.9.1~H19.8.31

収 入		支 出	
項 目	金 額	項 目	金 額
前年度繰越金	336,046	総会会費	230,000
総会会費	322,000	会議費	51,680
本部交付金	107,393	通信費	8,710
雑収入	16,000	印刷費	41,000
銀行利息	452	事務用品	-
		慶長費	11,740
		写真代	25,610
		体育会後援会費	10,000
		雑費	13,349
		次年度繰越金	389,802
合 計	781,891	合 計	781,891

〔会計監査報告〕
平成19年度東洋大学校友会鹿児島支部の会計書類及び証拠書類を精査の結果、決算書のとおり相違ないことを確認しました。
平成19年8月29日
東洋大学校友会鹿児島支部
監事 中野 博愛

近況報告 (平成19年度総会案内ハガキの通信欄より)

◆西村先生、お元気ですか・・・?
お久しぶりです!!
実は私、今年6月に入籍して「内田裕美」になりました!あと今、妊娠3ヶ月です!!つわりがひどくて外出できない状態なのでもう少し状態が良くなったら参加させて頂きたく思います
山之内裕美

◆いつもいつもご案内をありがとうございます。来年こそはと思いつつも9月第1土曜日があったというまに来て、なかなか参加することができません。本田さんご親切なお誘いありがとうございます

います。ゆったりと土曜日を迎えられるようになりたいと思います。台風の折には、村松支部長の適切な概況報告に聞きいっております。ご盛會をお祈りします。
松岡 洋子

◆役員皆さんには忙しい中準備にあたらせ感謝申し上げます。今年は10月に民営化を控えて研修等が、土、日にもあり参加出来ず申し訳ありません。支部総会がご盛會におこなわれますようお祈り申し上げます。
伊村 広文

◆野球部や駅伝部の活躍を楽しみにしています。総会への案内、いつもありがとうございます。
森田 正明

◆今年こそは皆様におめにかかれると思っていましたが、丁度、都合がわるく出席できません。おゆるし下さい。
皆様方へお伝え下さいませ。 松元イソ子

◆空手道部創立80周年記念式典が9/1(土)にスカイホールで開催され出席予定ですので、欠会します。皆様方へお伝え下さい。
四枝 和久

子を思う親の心

東洋大学浦水会 鹿児島県支部長
中倉 和人

朝夕めっきりと寒くなりましたが、校友会の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

浦水会県支部長という大役おおせつかりまして2年目を迎えました。こうした中、校友会の皆さまのご理解もあり、来年早々に、校友会と浦水会の交流会（合同新年会）を催していただくことになりました。紙面を借りまして御礼申し上げます。また、交流会の中で、浦水会会員の子供（大学生）さんの就職活動に資するために、校友会会員の皆様による就職活動のアドバイスもしていただけないか、学生も参加させてい

ただけないかとの提案もいたしましたところ、快くお引き受けいただきました。重ね重ね御礼申し上げます。

ところで、先月、肝付町（旧高山町）で「流鏝馬」を見学しました。馬場330mを人馬が駆け抜け、途中3つの的を射ます。これを3回繰り返します。射手は中学2年生ですが、練習の甲斐もあり見事に的を射抜きました。人馬が駆け抜ける前と駆け抜けた後に、羽織袴姿の射手の父親が、清めの塩を撒きます。出走前と出走後の往復で、都合6回（約2kmを徒歩で）塩撒きをするわけです。わが子が、落馬して怪我をすることがありませんように…無事に流鏝馬の大役を終えることができますように…と心を込めて、左右に丹念に清めの塩を撒くわけです。もちろん、祭りの成功を念じての部分もあるかもし

れませんが、この姿を見たとき、子を思う親の心を感じずにはいられませんでした。年のせいか、感動で涙腺が緩んでしかたありませんでした。子を思う親の気持ちは皆さん一緒だと思います。若干、主旨はちがうかも知れませんが、今回の校友会・浦水会・学生の3者による交流会は、子を思う親の心が実現させたものだと思っております。きっと楽しい触れ合いになるのではないのでしょうか。よろしくお願いたします。



平成19年7月7日 鹿児島県支部浦水会にて（前列右 中倉氏）

母校を訪問しませんか！

懇親会の席上で母校を訪ねてみたいという声をよく耳にするようになりました。そこで白山台にそびえる16階のインテリジェスビルを中心に再開発された白山キャンパスを訪問するツアーを平成20年6月頃に予定しています。みなさまのご意見をいろいろ聞きながら、楽しい「母校訪問ツアー」になるよう計画したいと思います。

訪問希望の方は幹事長（西村）までお知らせ下さい！



がんばる東洋大生！ 応援しよう東洋大学！

硬式野球部

明治神宮野球、東洋大、早大下初V！王者封じて最高の締め。ソフトバンクに1巡目で指名。大場翔太投手

頑張っています

鹿児島県出身、中倉裕人君（3年）
右外野6番、レギュラーとして大活躍。

陸上競技部 駅伝

箱根駅伝シード権獲得

頑張っています

鹿児島県出身、今城将司君（3年）

相撲

学生横綱に榎本翔太（4年）
初優勝



浦水会・校友会（合同新年会）開催のご案内

師走も近まり、朝夕の寒さも一段と感ぜられるようになりました。会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

さて、先般の「19年度浦水会定期総会の結果報告」でもお知らせしましたが、来年の1月5日（土）に浦水会鹿児島支部と校友会（東洋大学OB会）鹿児島支部による交流会（合同新年会）を右記のとおり開催する予定です。新年会につきましては、昨年も実施し好評をいただいております。今回は校友会との合同開催ということで、一段の盛り上がり期待されます。

さらに、今回の交流会につきましては、現役大学生の就職活動に資するため、交流会開催の中で校友会会員による「就職に関する講演会（トーク若しくは質疑応答）」も予定しております。内容的には、「現在の企業が求める人材とは…」、「就職活動時の心構え…」、「面接時の質問事項の最近の傾向…」、「私の就職活動体験談…」等々が予定されております。また、当日の参加学生には新年会の参加費の一部を補助（一人2000円）します。浦水会、校友会、現役学生が一同に交流することは全国的にも初めての試みであり、浦水会本部も注目しています。現役学生はもちろん親御さんにとりましても貴重な機会かと思われれます。会員の皆様はもちろん、ぜひ学生の皆様もお誘いいただき、多数の皆様が参加して下さるようお願い申し上げます。

左記は、浦水会支部長の中倉氏が浦水会の会員の皆様へ送られた文章です。浦水会との絆が、校友会の発展に大きく関与することと思われれます。また当日は、2007年秋の叙勲「瑞宝小綬章」を受賞された高口稔氏の祝賀会もかねて行ないたいと思います。多く校友のみな様の参加を願っています。参加の連絡は幹事長西村か、副幹事長松永にご連絡下さい。

締切 12月31日（月）

- 1 日時 平成20年1月5日（土）午後5時30分から（受付午後5時から）
- 2 場所 鹿児島市与次郎1丁目8番10号「サンロイヤルホテル」（099-253-2020）
- 3 会費 会員5,000円（学生3,000円）
- 4 参加予定者 浦水会会員、校友会会員、東洋大学学生

連絡先 幹事長 西村 正一郎 TEL 099-267-4302（自宅）
099-255-3211（勤務先）
携帯 090-4358-1947
副幹事長 松永 幹太 TEL 099-247-9824（自宅）
099-286-3327（勤務先）
携帯 080-3188-4884

Kirishima Sanjo Hotel

メッセージは風の音

季節が美しく巡る霧島
花や、空や、星に、心を寄せて
大きな自然の息吹をたっぷり感じてください



政府登録・霧島国立公園

霧島山上ホテル
呉竹山荘・桜林山荘

〒899-6603 鹿児島県霧島市牧園町高千穂3761番地
TEL (0995) 78-2111 FAX (0995) 78-2132
http://www.sanjo-hotel.co.jp

代表取締役 松田 浩明（昭和38年経済）